

実験動物関連会社・団体様 各位

## 趣 意 書

謹啓

貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より日本実験動物技術者協会に対し特段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本実験動物技術者協会は、昭和 41 年（1966 年）に実験動物技術者懇談会として発足して以来長きに渡り、実験動物の飼育管理技術や動物実験技術の向上、更には技術者の地位向上のために研鑽を重ねて参ることが出来ました。これもひとえに諸先輩方の御尽力と関連学協会の皆様による温かいご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

この度、令和 5 年（2023 年）10 月 19 日（木）～21 日（土）の 3 日間の会期をもって、第 57 回日本実験動物技術者協会総会を福島市で開催する運びとなりました。近年、労働人口の減少に伴う人材難・技術継承の問題や、新型コロナ対策に伴う業務負荷の増加等、私たち実験動物技術者はこれまでに無い様々な課題に直面していると思われまます。そこで本大会では、テーマを「徹する～科学のために、動物のために～」といたしまして、次の 3 つの視点で実験動物技術者のこれからの方向性を見出せるような、新たな気付きが得られるような企画を検討しております。①実験動物技術者にとっての基幹技術（飼育管理、実験手技、環境・微生物コントロール技術、発生工学技術、動物福祉、施設管理等）について、各技術の基礎を徹底できているかを考える企画。②将来に向けて各技術を洗練させるため、そして次世代の技術者への技術継承を推進するためにどのような取り組みを徹底すべきかを考える企画。③動物実験に関連した危機管理を徹底できているかを考える企画。以上の視点で、技術者を含む実験動物業界全体で将来を考えることができるように、そして本大会が実験動物技術者ならびに実験動物業界全体にとって実り多き大会になるよう、関係者一同鋭意準備を進めております。

本大会の開催に関しましては、諸経費の節約を旨として参加費を基に運営する所存でありますが、何分にも参加費は限られており、各方面からのご支援を賜わらなければ大変厳しい状況でございます。諸般厳しい情勢の中、誠に恐縮ではございますが、御社におかれましては本大会の開催趣旨にご理解を頂きまして、大会開催へのご支援・ご援助を賜りますよう、ここにお願い申し上げます。何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

令和 5 年 3 月吉日

第 57 回日本実験動物技術者協会総会 - 2023 福島大会 -  
大会長 石橋 崇  
(東北大学加齢医学研究所実験動物管理室)